

令和4年度 第2回名取市生涯学習推進協議会概要記録

○日時	令和5年1月26日(木) 午前11時00分より
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(6名)	玉野井ゆかり委員、大野 英子委員、和栗 幸一委員、 太田 裕子委員、須永 力委員、高橋 真佐子委員
○欠席者(4名)	本郷一浩委員、阿部文男委員、齋藤勇介委員、松田道雄委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 教育部長 菊池 博幸 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐 佐藤 浩 " 生涯学習・青少年係長 菊地 栄一
○傍聴人	なし

会議概要

1 開 会 進行：佐藤課長補佐

2 あいさつ

引き続きの開催により、挨拶は省略

会議成立の確認

名取市生涯学習推進本部設置要綱第8条2項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げた。傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

3 報告事項

名取市生涯学習推進本部設置要綱第8条第1項により、高橋議長が議事進行

(1) 令和4年度なとりまなびフェスティバル'22前編について資料1

資料1について説明 (説明員：生涯学習課 菊地係長)

高橋議長

ただいまの説明について、ご意見ご質問等あればお願いしたい。

太田委員

非常にいい講演だった。参加した方によると、子育て世帯の方々にも参加してもらえたら良か

令和4年度第2回名取市生涯学習推進協議会 令和5年1月26日(木)

ったということである。時間的に余裕のある60代～70代の方が多くみられたが、ニーズがある若い世代の方、働いている世代の方が必要だったと思う。12月の初めに「翔け！名取の女と男フォーラム」があり、人がだいたい集まったが高齢者が中心だった。パネラーは30代～40代で、内容はもっと若い世代に来ていただきたかったので、広報の仕方などどのようにすればよかったのか、幅広い市民を対象に参加を呼び掛けるにはどのような工夫をしたらよいか。

須永委員

週末は色々あり、興味があっても行けない事情がある。アンケート調査をみても大成功だと思う。アンケートのイベント全体の意見・要望の感想を読むと、ますます行きたくなるという強い衝動が起きるのではないかな。強い興味を引くためには、行った人たちがどんな感想、思いを持ったのかを伝えるといいのかなと思う。チラシの短い文言ではその人の本当の素晴らしさを伝えることは難しい。自分もチラシを作る立場として反省を込めてそう思った。前回の講演が素晴らしかったというのが伝われば、何とかして行きたいと思うのではないかな。

大野委員

事務局に質問であるが、なとりまなびフェスティバルを開催するにあたって、託児的なサービスはあるのか。子育て世代に参加させたいということであれば、子供を見てもらわないと参加できない事情もあるのではないかなと思う。

事務局(菊地係長)

事務局でも考えを巡らせている。組織として家庭教育支援チーム tocotoco があるので、そちらを取り込んで見守り等ができないかを考えているところである。

大野委員

コロナ禍なので、託児も現実問題として難しいと思う。自分が子育てをしていた時代は、同居などで子供をみてもらえる環境だったが、核家族が増えている中では難しいと思う。前の講演も認知度が高い、参加してみたいという方を呼んでくださったのだと思いますが、講演会という形が若い人たちに受けるのかということもあると思う。参加型の方が比較的取り組みはし易いと思うが、コロナ禍なのでやり方を工夫しなければならないというところでクリアしなければならないところがある。すごくいい仕掛けをしてくれているなと思う。

事務局(菊地係長)

ひろみちお兄さんと呼ぶにあたり、参加型も考えたが大ホールしか取れず会場的な都合で断念した経緯がある。

高橋議長

辻井さんの講演は大変素晴らしかった。講演会のやり方は色々あると思うが、出演者に確保した時間をお任せするというのが大切だと思った。夏に市民会議で講演をした、バレーボールの小野寺選手はインタビュー形式で質問に答えるだけだったので、一生懸命やっていたとは思いますが、質問するインタビュアーはかなりの準備が必要だと思った。お呼びした方のいいところを引き出すテクニックがいるのだと思う。

高橋議長

他にご意見等はいかがか。原案の通りでよろしいか。

なければ、次にまなびパスポート事業についてお願いしたい。

(2) なとりまなびパスポート事業について資料2

資料2について説明 (説明員：生涯学習課 菊地係長)

和栗委員

この事業は比較的高齢者に人気がある。高齢者が外に出歩くということでもいいことだと思う。

玉野井委員

プレ事業にどのくらい参加しているのか。平均どの位溜まっているのか。来年度、本格実施にあたってポイント数は適切なのか、どのくらいの達成者を見込むのかによって、ポイント数の調整もできるのかと思う。

事務局(菊地係長)

感触としては、台紙の2段目のところで7、8割の方が15ポイント前後になるのではないかと捉えている。今回は半年でマイスターは2名だが、来年度は1年間という期間であれば、5～10名の方が表彰になるのではないかと想定している。ただし、子供のポイントが集まりにくいということがあるので、今後、図書館などへの働きかけを行い、子供にポイントが付くような事業がないかどうか、もしくは各公民館の事業やイベントで子供を対象としたものがないかどうかを精査、追加し改善を図りたい。

太田委員

マイスターの数はどこかで把握しているのか。

事務局(菊地係長)

パスポートは各個人が管理しており、個々人のポイント把握はしていないが、スタンプを押す各施設の窓口で感触を掴んでいるところである。そういった意見を吸い上げて、教えていただいている。

高橋議長

最初の台紙を受け取るのは対象施設ということか。学校では配付しないのか。生涯学習だから学校で配ると意味がないのか。生涯学習なので、自ら足を運んで学んで欲しいということか。

和栗委員

台紙の忘れについてであるが、ラジオ体操の台紙のように小さくして首にかけられるようにするなど、工夫が必要ではないか。

高橋議長

台紙を忘れた時に施設からシールでも渡してもらうなど工夫した方がよいのでは。

事務局(菊地係長)

忘れた方には、紙にスタンプを押したものを渡して対応しているところである。来年度はシールに印刷したものを配布して貼れるようにしたいと考えている。忘れてくる方については、DXへの移行において、スマホなどでDXを活用しての仕組みづくりを徐々に導入していけるよう考えていきたい。

大野委員

DXの話聞いたが、小学生で携帯を持っている子は学年が上だったり、実際は保護者だったりする。アプリを開発するとなると、費用がかかったり専門的なことになったりする。子供たちが自分でできることは何かと考えると、ギガスクール構想でipadを持っている思うので、対象の事業に参加してその時に写真を撮って台紙代わりにするなど、面倒ではなくできるのではないかと。

令和4年度第2回名取市生涯学習推進協議会 令和5年1月26日(木)

ただ、そういう所に iPad を持っていくとなると、あらたな課題ができてしまう可能性がある。あまりお金をかけずにやれることもあるのではないかと思う。

高橋議長

他にご質問等いかがか。まなびパスポートについては承認ということによろしいか。

続いて、協議(1)、令和4年度なとりまなびフェスティバル'22 後編について説明をお願いしたい。

4 協 議

(1) 令和4年度なとりまなびフェスティバル'22 後編について 資料3

資料3について説明 (説明員:生涯学習課 菊地係長)

高橋委員長

これについてのご意見、ご質問等いかがか。

なければ原案の通りでよろしいか。原案の通り承認とする。

その他について事務局からいかがか。

5 そ の 他

事務局からは無し。

(議事一切を終了。高橋議長、降壇。)

事務局(佐藤課長補佐)

令和4年度第2回名取市生涯学習推進協議会の一切の終了を宣言。

6 閉 会

11:20 終了

以上